

坂本城

坂本城を考
える会会報

発行責任者
東山 政司
大津市下阪本
3丁目

坂本城跡、 国指定史跡に向けて 大きく前進！

令和7年6月20日、国の文化審議会において、新たな史跡名勝天然記念物の指定に向けて、文部科学大臣に答申が出された。それに先立ち佐藤健司大津市長は



坂本城跡について、県を通じて2月25日文部科学大臣に対し国史跡指定の意見具申を行ったと発表していたが、今回の答申により坂本城跡が国の指定史跡となる見込み。

対象となる場所は、三の丸地点約3,000平方メートル（昨年度遺構が確認された場所）と本丸地点約8,800平方メートル（昭和54年度に発掘調査が行わ

れた場所）。答申における坂本城跡の価値は、1. 織豊系城郭の立地や構造、築城技術等を知ることができる重要な城郭であること、2. 琵琶湖を通じた京への流通拠点に築城された政治的・軍事的・経済的に重要な城郭であることと評価された。

今後、国の史跡指定がなされれば、リーフレットの作成等により市民にも坂本城跡の歴史的な価値を知らせていくような機会を作っていく、その上で遺構の保存・活用を市民とともに議論していきたいとのことである。

大津市長のコメント
「長年にわたり幻の城と呼ばれてきた坂本城については、昨年2月に開発工事に伴う発掘調査で画期的な発見となる三ノ丸のものとみられる石垣を伴う堀が確認され、これを私たちの世代の責任において、しっかりと後世に遺すために力を尽くしてまいりました。

今回の答申は、こうした取組が実を結んだものであ



り、史跡指定に向けてお力添えを賜ったすべての皆様に心から感謝申し上げます。

また、長年にわたり、明智光秀公や坂本城に誇りと愛着を持ち、様々な取組を重ねてきてくださった先人にも敬意を表する次第です。

本市の国指定史跡は、坂本城跡が指定されますと全部で16件となりますが城郭跡は初めてであり、先日の琵琶湖疏水の国宝、重要文化財指定への答申に続いて、より一層、多くの方々に大津の持つ歴史の厚みや奥深さを実感していただけるもの



と考えております。

今後とも、坂本城跡をはじめとする文化財の保存、活用を通して本市の豊かな歴史文化遺産の魅力を発信するとともに、国指定文化財の数が全国の市町村で第3位を誇る本市の歴史まちづくりを推進してまいります。

「
当会としても、このような市の活動に対し、できる限りの協力を行っていきたい。、いよいよ「幻の水城 坂本城」が「幻」ではなくなる日が近づきつつある。
（文責 東山政司）

令和7年6月8日(土)、
下阪本市民センターにおいて、
第19回総会が会員参加のもと開催された。
総会では河村会長の挨拶
の後、藤本一也議長のもと、
令和6年度の事業・会計報告、
今年度の事業計画・予算案・
役員案が提案され、
全てが承認決定された。

第19回総会開催 石垣発見を機に 活動強化

令和6年度 事業報告



1. 公園ガイド
○役員を中心に、土日祝日の午前10～12時に実施。但し夏季(7月中旬～9月中旬)は高温のため中止。前期(4～7月)586名、後期(9～12月)255名、冬期(1～2月)122名で、年間計963名を案内
2. 勉強会等
○比叡山中学校の下阪本地域の研修授業で講師
○大津市文化財保護課の岡

令和7年度 事業計画

1. 公園ガイド
○三の丸の石垣の発見に伴う見学者増に伴う、例年通りの公園ガイドの実施
ガイド実施者の減少対策として、ガイド希望者の募集、育成講座の実施
○「御城印札」販売の継続実施(委託含む)
 2. 地域連携
○下阪本文化協会と連携した講演会の企画・実施
 3. 調査と勉強会
○講演会の実施(総会時)
- 田有矢氏の講演会を実施
○研修旅行の実施(津山城と城下)
○長年の活動を評価されたハン六文化振興賞の受賞
○大津市への坂本城活用に関するパブリックコメントの投稿
3. 地域連携
○坂本城址公園の草刈・清掃等の実施、桔梗の栽培
 4. 広報・その他
○ホームページの更新
○会報の発行

令和7年度 役員・顧問

会長 河村益孝
副会長 恒岡善博
幹事 事務局 山本正史
幹事 会計 森茂樹
幹事 広報 藤本一也

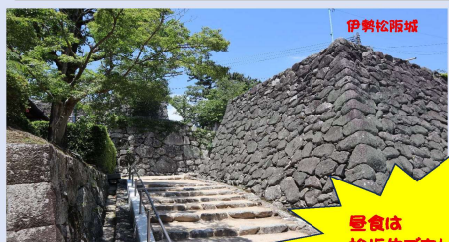
○研修旅行の実施
下阪本の文化祭等、地域の行事への参加・協力
4. 広報・その他
○会報・ホームページでの情報発信
○会員増加に向けた募集活動の実施

幹事調査研究 美内志郎
幹事地域連携 山岡和則
幹事普及啓発 石丸学
幹事普及啓発 北木茂
幹事 広報 東山政司
幹事普及啓発 松山武史
幹事普及啓発 津田睦美
監事 笹井貫二
監事 辻栄子
顧問 吉水眞彦

日帰りバスツアー 参加者募集!

日本100名城

伊勢松阪城、伊賀上野城!!



昼食は
松坂牛です!

10月12日(日)

参加費:一人 ¥10,000(昼食付)

集合場所: JR比叡山坂本駅、下阪本支所、
JR大津駅付近

伊賀上野城



申込み・問合せ先
会長 河村 益孝 070-5507-7350
担当 森 茂樹 090-3493-6197
Mail: sakamoto-jyoh-kanri@sakamoto-jyoh.org



講演の要旨

今回は、一昨年度の調査報告から発掘調査自体の進

去る6月8日、本会総会の後、昨年に引き続き、講師に坂本城三の丸石垣発見時の調査担当で、大津市文化財保護課の岡田有矢氏を招き、講演会が開催されました。

城の石垣発見以後の坂本城

大津市文化財保護課 岡田有矢氏

展は無かったとのことから、文献史料による坂本城に関する歴史を振り返り、ついで令和5年度までの坂本城地域の発掘調査の経緯・成果について話をしていたいただきました。

まずは坂本城の歴史についてです。坂本城築城以前、下阪本は交通の要衝であり、室町時代には日本有数の港町であり、その痕跡は松ノ馬場通りに短冊状に連なる屋敷群、いわゆる都市型の区画が発掘調査から見つかったことでも裏付けられていますとのことでした。室町時代後期、織田信長の上洛後の元亀年間、志賀の陣、比叡山焼討ちを経て、坂本城が築城されます。従来は坂本築城の目的として比叡山の監視をあげることがありまし

たが、比叡山は既に焼亡しており、その意義は薄いと指摘されていました。ついで坂本城築城後はその外観について、廃城についてはそれに至る経緯、廃城後は近世以降の坂本城跡について、それぞれ文献史料を元に説明していただきました。次に発掘調査についてです。坂本城周辺の発掘調査は昭和54年以降、27回を数え、そのうち明確に城跡遺構が確認できたのは昭和54年度と令和5年度に2回のみとのことでした。その2回の調査については遺構配置図を元に説明していただきました。昭和54年度の遺構は本丸跡とされていますが、天守跡のような大きな礎石は見つかっていないとのことでした。また令和5年度の調査につ

いては30mの石垣が発見されましたが、さらにその延長線上について、ピンポイント探査を行ったところ、石の反応があつたとのこと、石垣が延長していた可能性



が高いつたことでした。調査担当者ならではの貴重な話でした。最後に大津市の今後の取組みについての説明がありました。市としては2月に国指定史跡を目指して意見具申を実施しており、現在はその結果を待っている状態です。昨年同様であれば6月には返答があるとのことでした。そういう状況を踏ま

え、今年度は坂本城跡の魅力の発信に努め、リーフレットの作成やイベント等の開催を進めていきたいとのこととです。

聴講者は会員31名、非会員34名の計65名で、昨年同様、ほぼ満席となるほど盛況で、興味の高さがうかがえました。

講演会の資料については当会ホームページでも公開していますので、興味のある方はそちらも御覧ください。

(文責 東山 政司)

会員募集にご協力を！

ボランティアガイドの充実が求められています。仲間になっていただける方をぜひご紹介ください。

会長 河村 益孝 事務局 山本 正史

連絡先: sakamoto-jyoh-kanri@sakamoto-jyoh.org



当会の長年にわたる活動・業績が評価され、公益財団法人ハン六文化振興財団（大津市）より第38回「ハン六文化振興賞」に選ばれ、令和6年9月8日に贈賞式が執り行われた。

受賞のことば

「このたびは受賞にあずかりまして、誠にありがとうございます。最近の城ブームからか、



坂本城址公園に訪れる見学者が多く、会の活動も案内が中心になっている状況です。

令和5年11月に琵琶湖の水位が下がり、坂本城の石垣が出現しました。多くの方が訪れ、我々の案内も大忙しとなり、活動も注目されました。

また、令和6年2月には城址の西側の宅地造成地から、坂本城の「三の丸の石垣」が発掘され、2日間で2,000名を超える見学者が大津市の文化財保護課の説明会に訪れ、近くの坂本城址公園にも多くの人が来られ、案内人を増加して対応しました。

と共に、我々の活動が評価されて勇気と自信を与えられたと大変感激しております。本当にありがとうございます。今後とも案内活動に頑張りたいと思いますので、よろしくご指導を賜りますようお願いいたします。」（会長 河村益孝）

のろしりしーに坂本城参加!

近江のろしの会が主催する「近江中世城跡琵琶湖一周のろし駅伝」に、今年から当会が参加することになった。のろし駅伝は滋賀県各地にある中世城跡でのろしをあげ、リレー形式でつないでいくイベントで、昨年は36城が参加している。大津市からの参加は当会が初となる。開催日は11月23日（日）。開催場所、時間等の詳細は決まり次第、HPやポスター等でお知らせする。

びわ湖城下ものがたり開催

『びわ湖城下ものがたり』幻の水城・坂本城と智将・明智光秀公の物語〜が令和7年10月19日、西教寺書院にて開催されることになった。出演される当会幹事の石丸氏より紹介して頂く。「坂本城を考える会」で8年ほど幹事を務め、土日に坂本城址にて語り部として活動しておりますが、私の友人で歴女であり元びわ湖放送AD経験

のある姉川理子氏より呼びかけがあり、共に友人である中将ゆみこ氏とコラボでの歴史物語イベントを企画することになりました。坂本城を築城した智将として名を馳せた明智光秀の人柄やエピソードを綴る、歌あり芝居ありのエンターテインメント歴史絵巻です。ぜひ明智光秀ゆかりの西教寺にて参加者の皆様と450年前にタイムスリップしてみたいと思います。乞うご期待!」（文責 石丸 学）

びわ湖城下ものがたり
～幻の水城・坂本城と
智将・明智光秀公の物語～

2025 10/19(日)
13時～(12時開場)
西教寺
¥3500
【拝観料込】

桔梗の語り部 石丸 学

白鈴の語り部 中将ゆみこ

お申し込みはこちら

QRコード

主催 びわ湖城下ものがたり実行委員会 担当 姉川理子
後援 坂本城を考える会

ルイス・フロイスは書き残しました。
『かの夫湖のはとりにある坂本とよばれる地に
豪族華屋なものは戦国武将・明智光秀公が
築き坂本城、城主である光秀公は高い教養を
持ち、家臣頭目、家族を大切にされた人
であったといわれています。
今回は坂本城と光秀公、妻・照子さんに思いを
馳せながら、その土地と歴史に眠る伝わる
波動をすくい取り祈りを捧げたいと思います。